

令和3年2月16日
東日本高速道路株式会社
東北支社

E6 常磐自動車道(相馬IC～新地IC)における切土のり面崩落について **(2月16日(火)11時00分発表)**

2/13(土)夜間に発生した福島県沖の地震に伴った E6 常磐自動車道(相馬IC～新地IC)の本線脇のり面の大規模崩落について、2月15日(月)にのり面の安全性について有識者の意見を伺い、応急対策方法を決定しました。

引き続き工事中の安全性を考慮し作業を進め、2月17日(水)中に通行止めを解除する予定です。

- ・別紙-1【被災概要】
- ・別紙-2【応急対策概要】

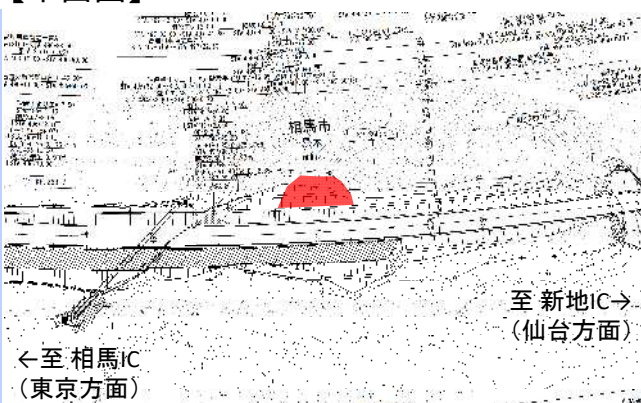
<事象概要>

被災箇所 : E6常磐道(相馬IC～新地IC)
 暫定2車線区間 268.9KP
 地震発生日時 : 2月13日(土) 23時07分
 崩落規模 : 幅70m×高さ15m×奥行10m(約5,000m³)
 人的被害 : 無し

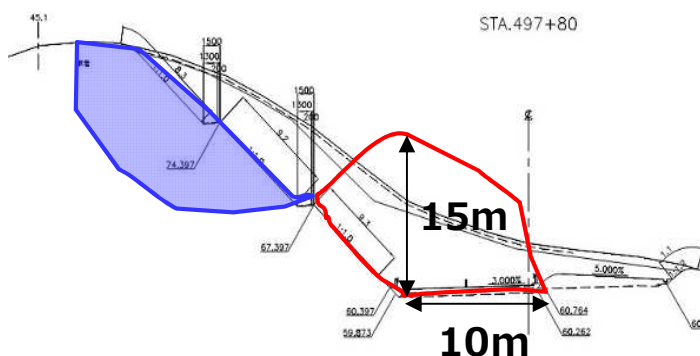
【位置図】



【平面図】



【横断面図】



【被災状況】



<現在の作業状況>

- 現場体制 : バックホウ7台、ブレーカー1台
 ダンプトラック32台
- 作業状況 : 被災直後から土砂の撤去作業を実施
 現在、亀裂が見られる残存岩塊の撤去・搬出中

【作業状況】



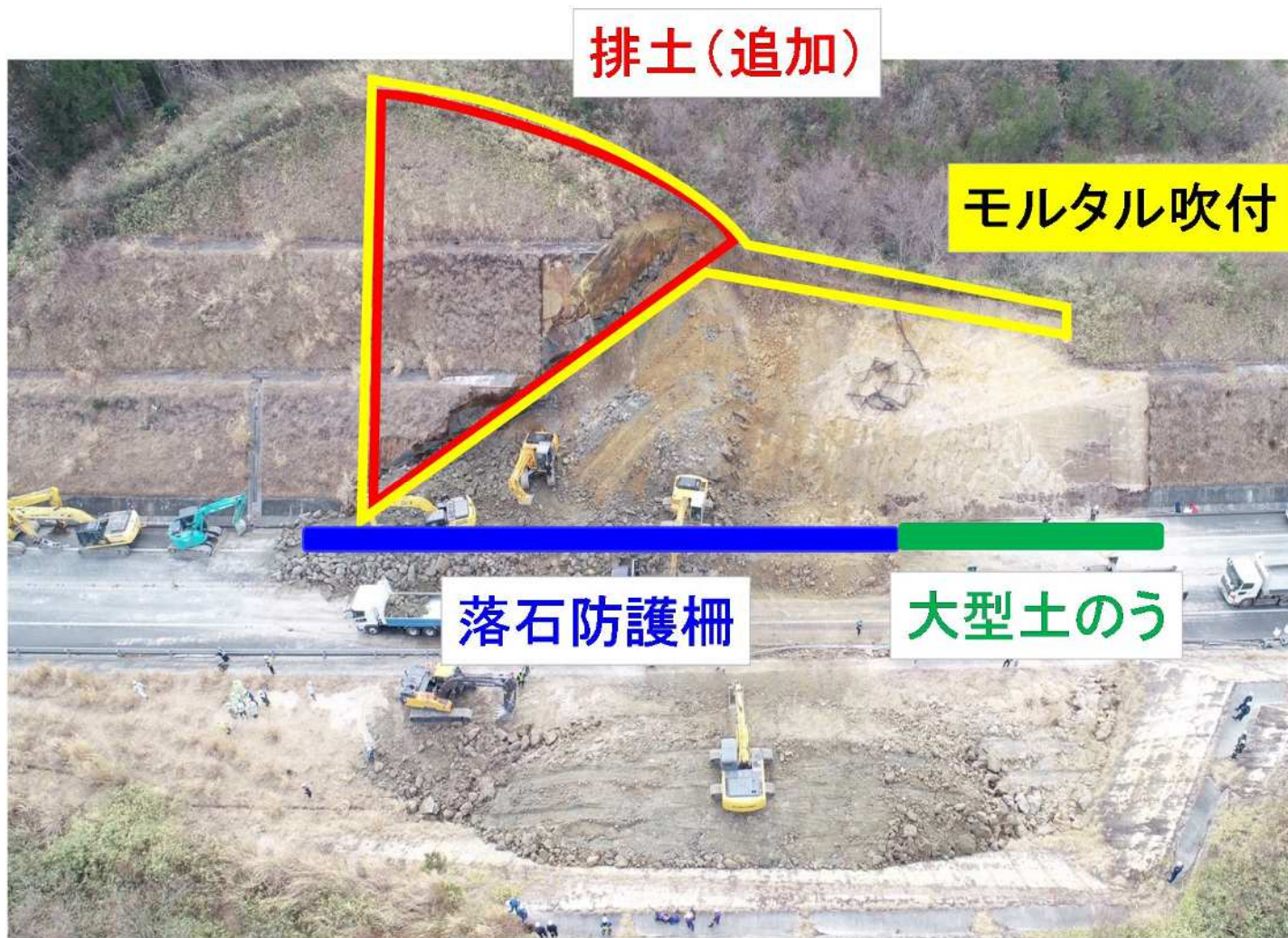
<今後の見通し>

- 15日(月)にのり面の安全性について有識者に現場を確認頂いた。
- 有識者の意見を踏まえて必要な対策を実施した上で、17日(水)中に、通行止めを解除する予定。

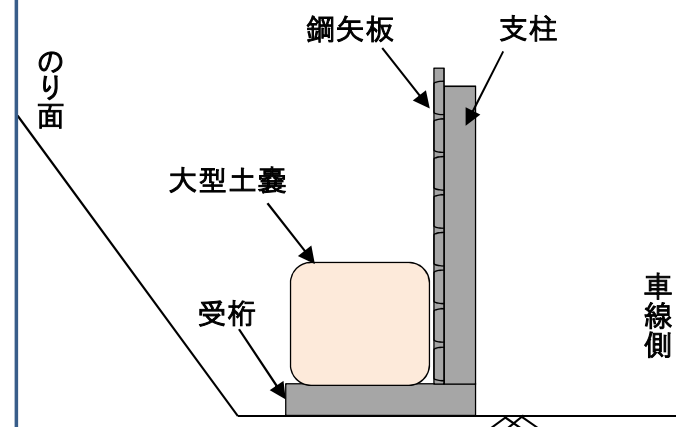


○不安定な個所についても、排土するとともに、露出させたのり面はモルタル吹付で保護

○路肩部に落石防護柵及び大型土嚢を設置し、安全を確保



落石防護柵設置区間イメージ



土嚢設置区間イメージ

